

（仮称）水際線まちづくりコンセプトプラン（案）について

令和7年11月5日

都市整備局臨海部活性化推進課

「水際線まちづくりコンセプトプラン」について

- ・臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線について、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めます。
- ・その実現に向けて、2029年度までのまちづくりの進め方や整備の方向性等をまとめたコンセプトプランを策定していきます。



本日の審議について

- ・ 本日は、コンセプトプラン（案）について説明させていただき、水際線のまちづくりのコンセプトについてご意見を頂きたいと考えています。
- ・ 本コンセプトプランに基づき進める整備については、必要に応じて都市美対策審議会景観審査部会で意見を聴きながら進めていきます。

コンセプトプラン策定スケジュール（予定）

9月	コンセプトプランの基本的方向について市会報告
本日	都市美対策審議会政策検討部会 審議
12月頃	コンセプトプラン（素案）市会報告
1月頃	市民意見募集
3月頃	コンセプトプラン（原案）市会報告 コンセプトプラン策定

コンセプトプランの構成

- 01 水際線とは
- 02 水際線の魅力
- 03 水際線まちづくりの目指す姿
- 04 まちづくりの進め方
- 05 まちづくりのコンセプト
- 06 整備の方向性

～水際線の5つのエリア～

- 1 臨港パークエリア
- 2 ハンマーヘッド周辺エリア
- 3 赤レンガエリア
- 4 象の鼻エリア
- 5 山下公園エリア

～5つのエリアのつながりの強化～

- 1 照明
- 2 水際線ルートサイン

～水際線とまちのつながりの強化～

- 1 横浜駅～臨港パーク
- 2 みなとみらい駅～臨港パーク
- 3 結節点サイン・矢羽根サイン

02 水際線の魅力

海・花・緑

まちと海が近く、また、豊富な公園や緑地がプロムナードで結ばれており、水際線を歩けば花や緑に親しむことができます。

景 観

目の前に広がる海や豊かな緑と街並みがつくり出す美しい景色、日本新三大夜景都市に選ばれた夜景など、横浜ならではの水際線の景観に出会えます。

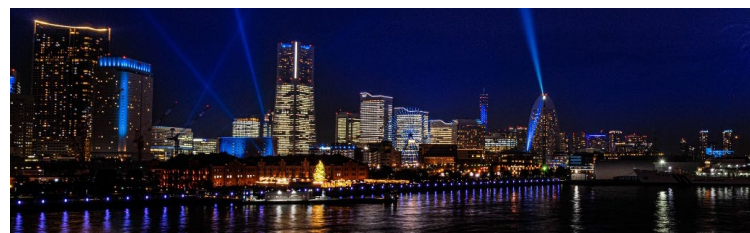
歴 史

開港以来、日本の国際貿易の中心地として発展してきた横浜には、今もその歴史を感じさせる建物や街並みが残ります。そうした歴史や景観を大切に、価値ある建物が今に生かされています。

観 光

横浜には、年間3,700万人以上の人々が観光・MICEに訪れるほか、国内外から多くの客船クルーズが寄港し、その様子を間近に見ることができます。

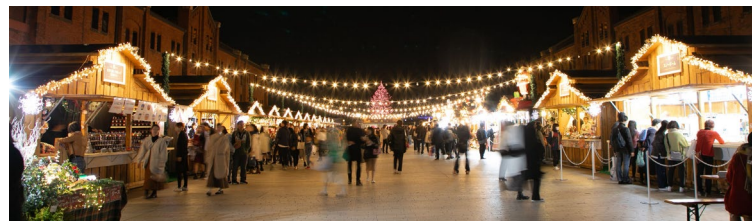
格調高いクラシックホテルからグローバルブランドホテル、ファミリーでも泊まりやすいホテルなど、ニーズに応じて選べる多様なホテルが集積しています。



02 水際線の魅力

エンターテインメント

音楽のまちとして、まちなかでの都市型フェスの開催や、大規模音楽施設の集積が進んでいます。エンタメ施設や企業ミュージアムも集まり、国内外から多くの人を訪れます。



ビジネス

みなとみらいエリアでは2,000社を超える企業のオフィスがあり、スタートアップを支援する「TECH HUB YOKOHAMA」をはじめ、新たなビジネスやイノベーションを生み出す環境が整っています。



スポーツ・ウェルビーイング

水際線を舞台に開催されるトライアスロンやマラソンなどの大規模スポーツイベントが「する」「見る」「支える」それぞれの人によって盛り上げられています。

また、ランニングやヨガなど生活の豊かさにつながるアクティビティを楽しめる場所が多くあります。



©Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media

交通

鉄道やバスなど、さまざまな交通アクセスがあり、東京や羽田・成田空港からは乗り換えなしで着けます。

また、水上モビリティも充実しており、移動しながら非日常感を楽しむことができます。



03 水際線まちづくりの目指す姿

①出かけたくなる



Photo：（一社）横浜みなとみらい21

- 水際線の魅力向上を行政が先導的に推進し、出かけたくなる環境づくりを進めていきます。
- 訪れた人々が横浜でしかできない体験を楽しみ、誰かに伝えたいような水際線にしていきます。

②横浜のファンになる



©CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025

- 独自の魅力をさらに磨き、来街者にまた訪れたいと感じてもらえるホスピタリティあふれる水際線にしていきます。
- 横浜に住みたい、横浜で働きたい・学びたいという人々を増やしていきます。

③世界が注目する



Photo：（一社）横浜みなとみらい21

- 一目見て「YOKOHAMA」と分かる圧倒的な水際線の景観をブランディングし、発信していきます。
- 世界を魅了し、市民や企業が誇れる水際線にしていきます。



『世界に誇れる水際線』を実現していきます

まちづくりの進め方

水際線の目指す姿の実現に向けて、「点・線・面」の考え方に基づき、まちづくりを進めていきます。

「点」の磨き上げ

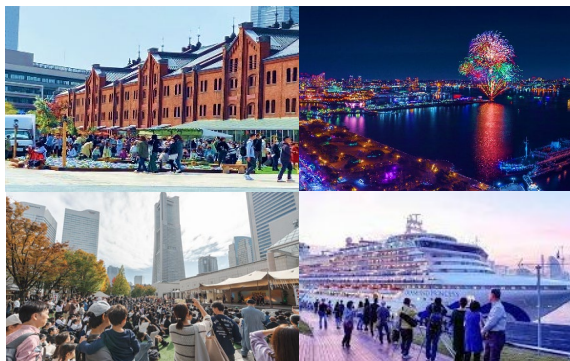
- ・まちと海の近さや港の風景・夜景、観光スポット、商業・エンタメ施設など、多彩で横浜らしい魅力資源のポテンシャルを最大限に発揮できるようアップグレードします。
- ・新たな魅力・にぎわい施設を整備するなど、横浜ならではの魅力を創出します。

「線」の創出

- ・磨き上げた魅力資源を結び付けるため、連続した歩行者空間の創出や移動そのものが楽しめる仕掛けづくりにより、水際線エリア全体の魅力を向上させます。

「面」の展開

- ・公共空間の積極的な活用などにより、水際線のにぎわいと主要駅周辺の拠点整備等によるにぎわいを連動させ、水際線からまちへ、まちから水際線への更なる人の流れを生み出し、都心臨海部全体を活性化します。



<左下>photo：大野隆介



05 まちづくりのコンセプト

水際線のまちづくりを進めていく上でのコンセプトを5つにまとめました。

1 いつきても、だれときても

- ・ 家族や友達、パートナーなどと過ごせる、お気に入りの海辺の居場所をつくれます。
- ・ 特別感のある海辺の立地を活かした魅力的なコンテンツにより、そこが目的地となる水際線を目指します。



2 わくわくに導かれて

- ・ その先に何が待っているのか期待感が高まり、つい歩みを進めたいくなる楽しい水際線をつくれます。
- ・ 散歩、ジョギング、モビリティなど、海風を感じながら、移動そのものが楽しくなる仕掛けをつくれます。



05 まちづくりのコンセプト

3 一日のはじまりから、おわりまで

- ・ 水際線ならではの体験の充実を図り、朝から水際線の魅力を堪能できる機会を創出していきます。
- ・ 水際線を彩る光の演出やナイトガーデンなど、コンテンツの充実を図り、夜まで楽しみつくせる水際線をつくります。



4 今ここでしか味わえない体験を

- ・ 水際線をフィールドに、躍動感・臨場感あふれるイベントやライブ、スポーツなどが繰り広げられている日常をつくります。
- ・ 歩いているだけで、そこにいるだけで、ここでしか見られない景色や瞬間に出会える水際線をつくります。



©CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025

5 そして、水際線からまちなかへ

- ・ 連続するGREEN空間やイルミネーション等により、水際線からまちへと人々を誘う仕掛けづくりをしていきます。
- ・ まちに訪れた人々が、飲食やショッピング等を楽しみ、横浜のまちを満喫できる機会を創出していきます。



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

水際線の5つのエリアの特性を活かしながら魅力を高めるまちづくりを進めていきます。

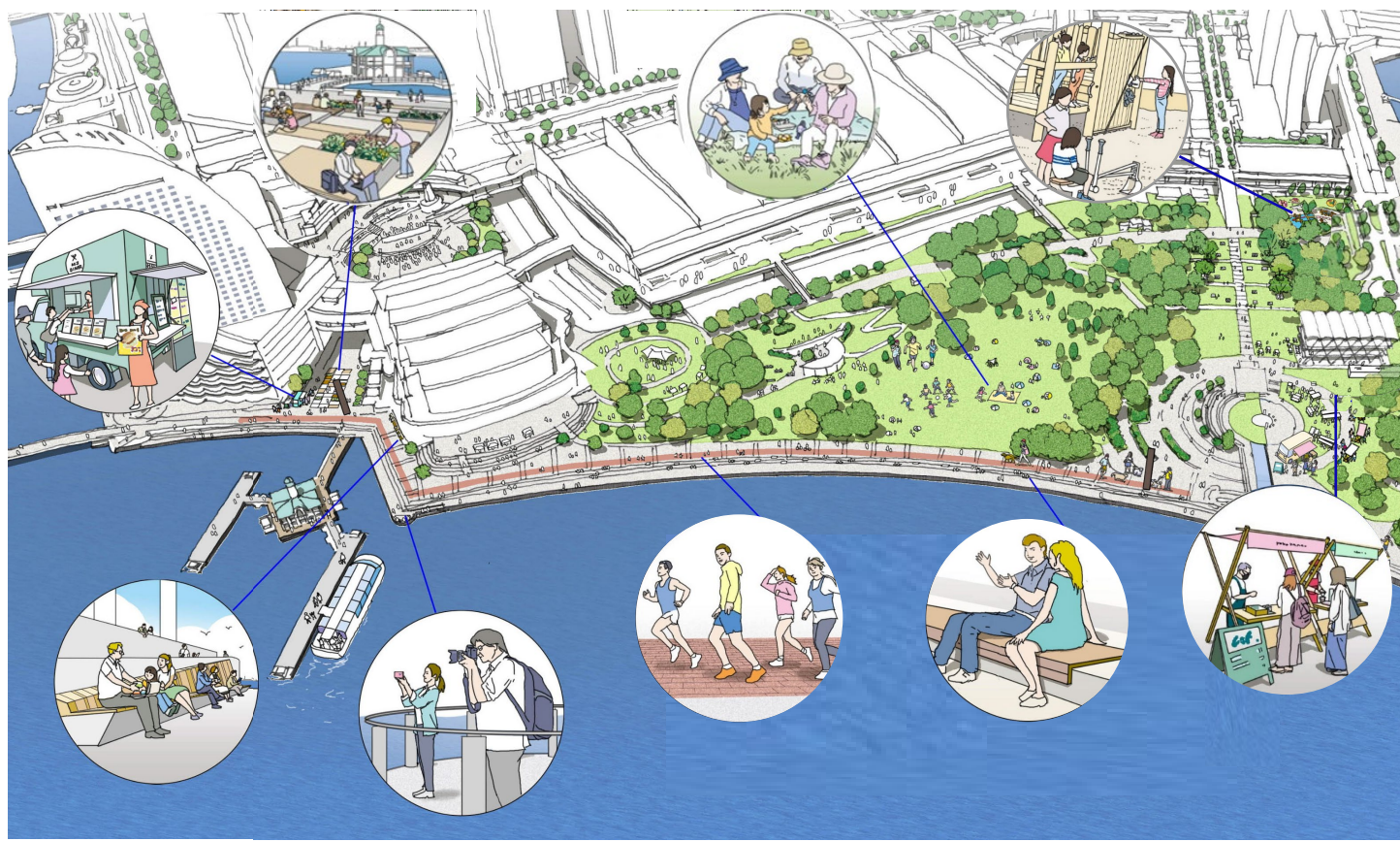


06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

1 臨港パークエリア

水際線随一の広さを誇る開放感あふれる場所であることを生かし、思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、居心地の良さを高めていくとともに、広々とした芝生広場や多彩なイベントなどにより、市民をはじめ観光客や隣接するMICE施設に訪れた人々も惹きつけるエリアへと進化させていきます。

整備イメージ



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

1 臨港パークエリア

整備イメージ



子どもから大人まで憩える空間の創出



水際線へ誘う動線の強化



滞在場所と歩行者動線の整備



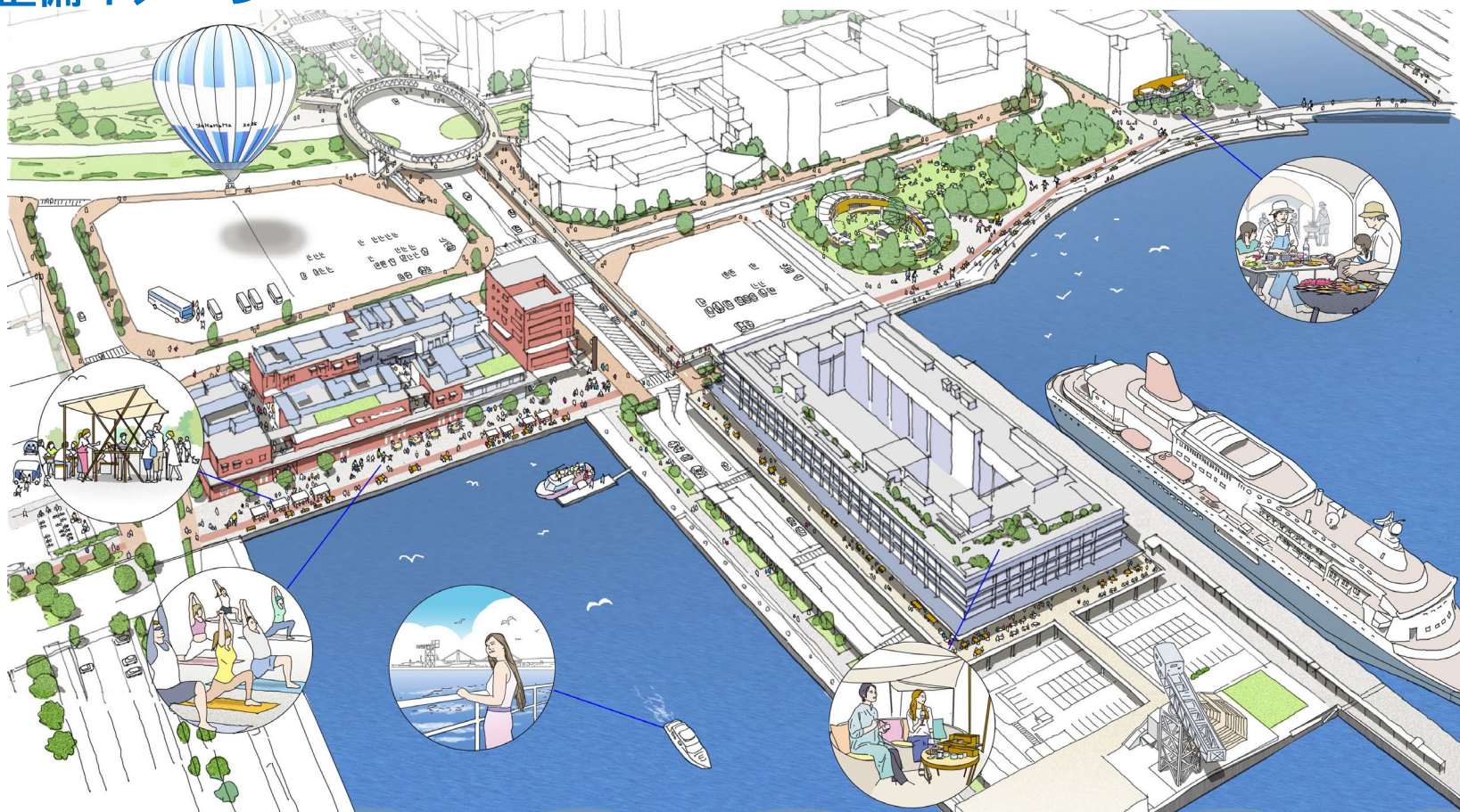
エリアのつながりの強化

06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

2 ハンマーヘッド周辺エリア

海に近接して商業施設や客船ターミナル、ホテルなどの施設が立地しており、グランピングやモーニングクルーズ、マルシェなど、水際線ならではの多様な体験ができるエリアへと進化させていきます。

整備イメージ



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

2 ハンマーヘッド周辺エリア

整備イメージ



連続性のある歩行者空間の創出



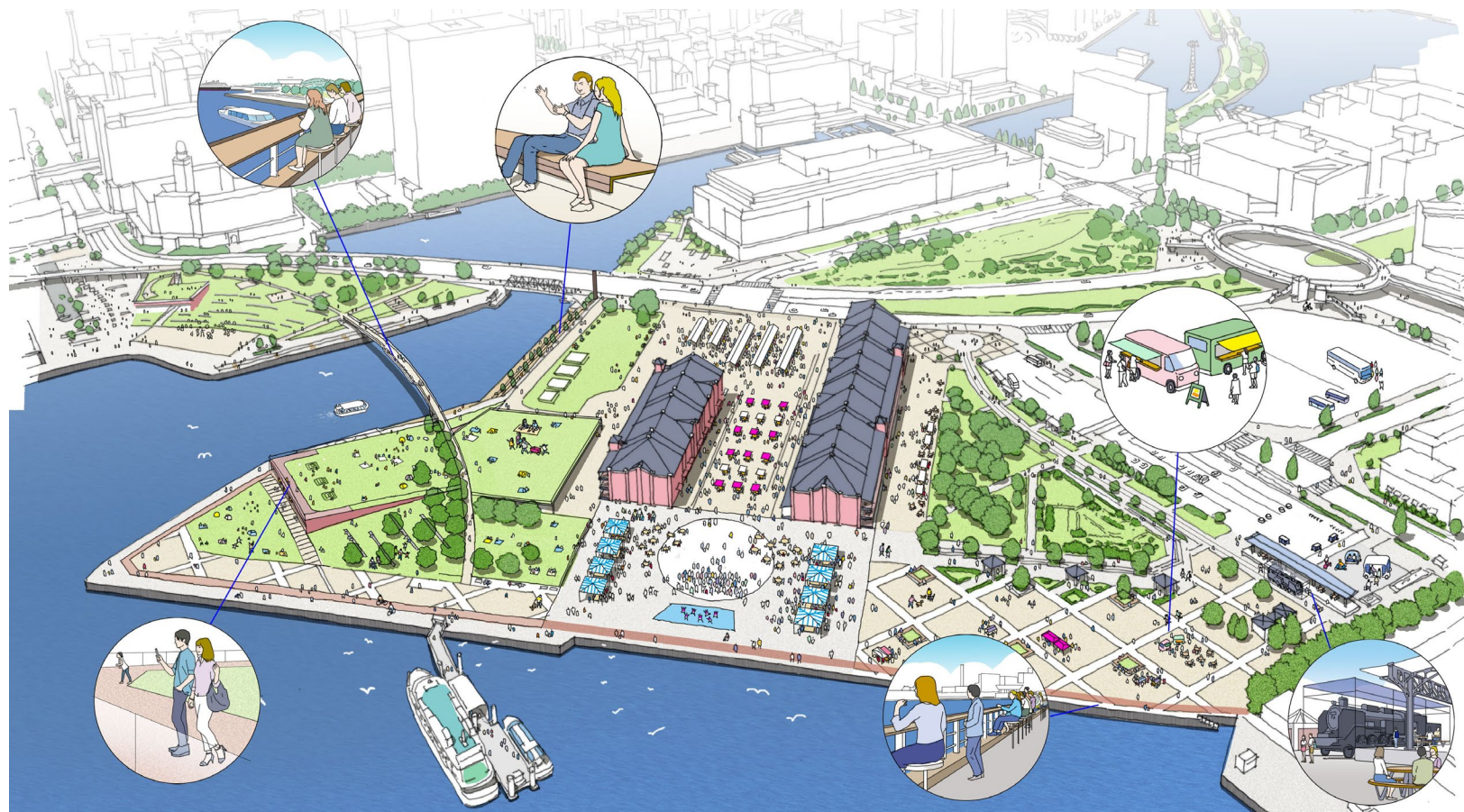
公共空間を活用したにぎわいづくり

06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

3 赤レンガエリア

年間を通して常に多くの人々でにぎわう水際線随一の集客力を誇る場所に、水際線の象徴となる新たなグリーン空間などを創出することで、さらに多くの人々が足を運びたくなるエリアへと進化させていきます。

整備イメージ



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

3 赤レンガエリア

整備イメージ



歴史に触れられる新たな魅力スポットとして再整備



海の眺望を楽しめる空間の創出



水際線の象徴となる緑とにぎわい空間の創出



赤レンガパークと象の鼻パークの回遊性の向上

06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

4 象の鼻エリア

日本大通りなどのまちなかを結ぶ道路とつながり、まちや水際線に向かう人々が行き交う場所で、臨港線プロムナードから大さん橋や日本大通りへとスムーズにアクセスできるようにし、回遊を促進していきます。象の鼻テラスのリニューアルなどで、更に多くの人々を惹きつけるエリアへと進化させていきます。

整備イメージ



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

4 象の鼻エリア

整備イメージ



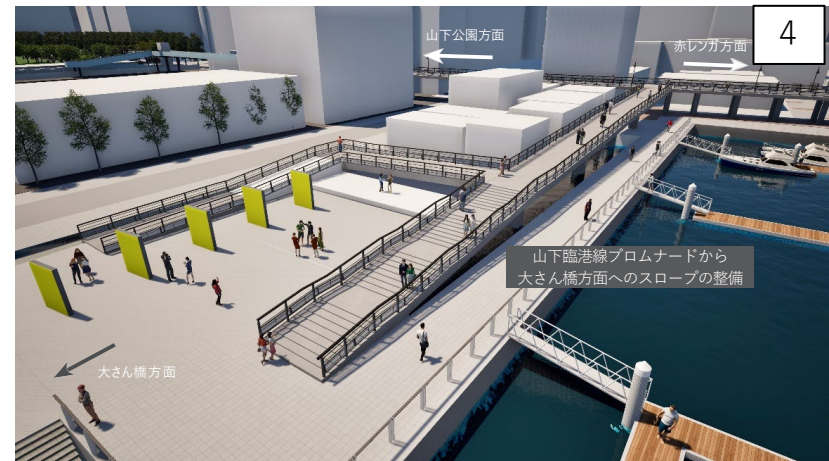
周辺エリアへの回遊性の向上



新たな木陰の創出による休憩スペースの整備



大さん橋方面へのアクセス強化



06 整備の方向性 ～水際線の5つのエリア～

5 山下公園エリア

整備イメージ



象の鼻・赤レンガ方面へのアクセス性の向上



イベント広場の更なる活用



山下公園と山下公園通りの一体感の創出



山下公園通りの街並みも楽しめる滞在空間の創出

06 整備の方向性 ～5つのエリアのつながりの強化～

1 照明

世界の人々を惹きつける夜間景観を形成していくため、「海に映る光」、「場所にあった光」、「特別な光」により、横浜ならではの夜景をさらに磨き上げていきます。

整備イメージ

① 海に映る光

- ・ 水面に映る光を一体的につなぎ、水際線の輪郭を際立たせます。
- ・ 海上から見た時の水際線のシルエットを浮かび上がらせ、美しい水景をつくり出します。



② 場所にあった光

- ・ エリアの特性に合わせた光の変化をデザインし、滞在を楽しむとともに、移動しながら変化を楽しむ光環境を目指します。
- ・ 光を抑えて夜景を眺める場所もつくり、周辺の夜の景観を楽しむようにします。
- ・ まちへの動線との交点や曲がり角などに光のアクセントとなる演出照明を配置し、次の動線への動きを誘います。

エリアの特性に合わせた光



臨港パーク

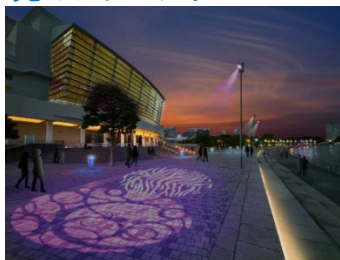


山下公園



汽船道

光のアクセント



臨港パーク（国立大ホール前の曲がり角）

06 整備の方向性 ～5つのエリアのつながりの強化～

1 照明

世界の人々を惹きつける夜間景観を形成していくため、「海に映る光」、「場所にあった光」、「特別な光」により、横浜ならではの夜景をさらに磨き上げていきます。

整備イメージ

③ 特別な光

- ・水際線全体の照明が一斉にカラーライトアップすることにより、記憶に残る特別な光の演出を目指します。
- ・光の演出は、「日常の『特別な時間』」と「1年の中でも『特別な日』」という二つの視点で行います。

日常の『特別な時間』（一斉カラーライトアップ）

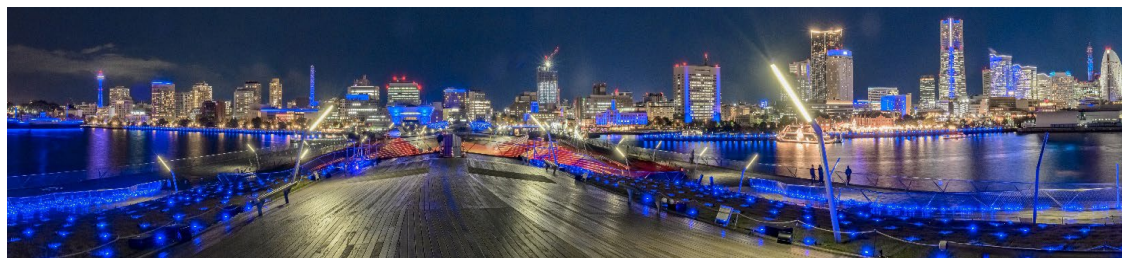


臨港パーク



山下臨港線プロムナード

1年の中でも『特別な日』（一斉カラーライトアップ）



06 整備の方向性 ～5つのエリアのつながりの強化～

2 水際線ルートサイン

水際線を楽しみながら移動できるよう、現在地や近隣施設への距離、ビューポイントなどを伝える4種類のデザインからなる「ルートサイン」を設置していきます。

整備イメージ

① ロゴマーク

水際線の連続性を生み出すサイン

② ナビゲーション

現在地や近隣施設への距離等を伝えるサイン

③ ビューポイント

写真スポットや視点場を伝えるサイン

④ インフォメーション

エリアの魅力などを伝えるサイン



06 整備の方向性 ～水際線とまちのつながりの強化～

「水際線からまち」へ、「まちから水際線」へと更なる人の流れを生み出していくために、「主要な鉄道駅」と「水際線」を結ぶ環境づくりなどを行います。

1 横浜駅～臨港パーク

整備イメージ



水際線の玄関口としての魅力的な空間の創出



水際線へとつながる日常的なにぎわい空間の創出

06 整備の方向性 ～水際線とまちのつながりの強化～

1 横浜駅～臨港パーク

整備イメージ



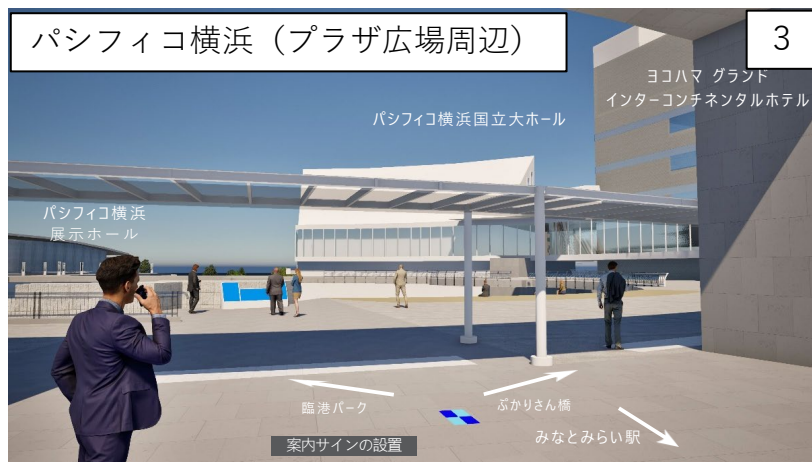
水際線へと誘う連続した空間の創出



水際線へと誘う環境づくり

2 みなとみらい駅～臨港パーク

整備イメージ



水際線へと誘う環境づくり



海の眺望を楽しめる花と緑の滞在空間へとリニューアル

06 整備の方向性 ～水際線とまちのつながりの強化～

3 結節点サイン・矢羽根サイン

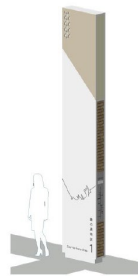


画像 ©2025 Google、地図データ ©2025

結節点サイン

水際線と、まちをつなぐ軸線が交差する地点にシンボルとなるサインを設置することで、水際線からまちなかへの回遊を促していきます。

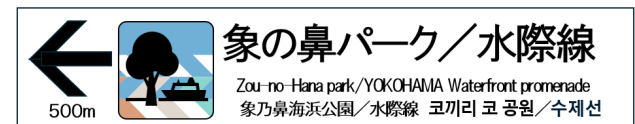
整備イメージ



矢羽根サイン

道路等に設置されている公共サインに新たに水際線の案内を追加することで、まちなかと水際線の回遊を促していきます。

整備イメージ



今後の進め方

- ・ 本コンセプトプランに基づき進める個別の整備については、11月28日開催の景観審査部会に諮る予定です。
- ・ 合わせて、景観アドバイザーと相談しながら進めます。
- ・ 整備が複数年に渡るため、個別の整備の時期に合わせて、適宜、景観審査部会に諮っていきます。

	11月			12月			1月			2月			3月			R8年度以降～
政策検討部会	11/5 ・コンセプトプラン素案(審議) ・景観アドバイザー承認															
景観審査部会	承認後		11/28 ・個別案審議							個別案 審議適宜開催						
景観アドバイザー	景観アドバイザー相談															